

市議会 いせさき

平成22年4月1日 No.26



伊勢崎市あすまサッカースタジアム

平成22年度一般会計予算657億5,000万円

第1回定例会
2月23日～3月19日(25日間)

一 般 質 問 …… 2～9
新 年 度 予 算 …… 9～11
成 立 し た 議 案 …… 11～12

今回、市長から提出された議案は、平成22年度一般会計予算及び各特別会計等予算14件、伊勢崎市伊勢崎駅自由通路条例等38件、人事案件1件の、合わせて53件でいずれも原案のとおり可決しました。

また、議員提出議案は、伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例で、原案のとおり可決しました。

東武鉄道高架事業について

伊勢崎クラブ

野田 文雄

質問 JR伊勢崎駅では、高架となつた新しい駅舎で5月末から営業運転が始まると聞いています。この高架化により、鉄道を挟んで南北に分断されていた市街地の一体化が図られ、伊勢崎駅を中心とした町の発展が期待されます。今後は、東武伊勢崎線の高架化の早期完成を待ち望むものです。そこで、東武鉄道高架事業の現在の状況及び今後の見通しについて伺います。

次に、高架化により、高架橋両側に側道ができるとうかがいました。住民のために歩道は必要だと思いますが考えをお聞きます。

答弁 東武伊勢崎線の高架工事については、現在、全線工区の立入防護柵等の仮設工事を実施しています。また、伊勢崎駅は、駅前交番の東側で仮駅舎の建設が行われ、本年3月に使用が開始される予定です。一方、新伊勢崎駅では、年度内に、仮線のための工事が予定されています。また、現在の駅舎付近に仮ホームが設置され、両側に仮線路を敷設し、現在の駅前に仮駅舎が設けられる予定です。今後の見通しについては、仮ホームや仮線路の建設が、平成22年秋頃までに完了し、高架橋工

事が、平成24年度内には完了する予定です。また、高架橋工事の進捗に合わせ駅舎や軌道工事等が実施され、平成25年度には高架橋への切りかえを行い、引き続き既存の施設の撤去を行い、平成26年度に事業が終了する予定となっています。

次に、側道については、鉄道高架による日照不足や騒音に配慮し、沿線の生活道路として高架橋両側に設置されます。構造については、幅員6メートルの車道の計画となりますが、交差する道路規模により側道への出入りを制限される箇所があり、また、西側側道の一部については歩行者専用道路となります。なお、完成は平成26年度を予定しています。



待ち望まれる東武伊勢崎線の高架化

その他の質問
・ 安心安全なまちづくりにについて

プラスチック製容器包装の回収について

伊勢崎クラブ

佐藤 幸夫

質問 平成20年11月からプラマークのついたプラスチック製容器包装の回収が始まりました。日本容器包装リサイクル協会が発表した本市の平成20年度のリサイクル実績は、引取量が19万7410キログラム、リサイクル事業者は株式会社日本アクリーズとありますが、回収から再商品に至るまでの過程についてお聞きます。また、回収にかかる費用と製品販売での収益に

ついては、市民も関心のあるところではないかと思えます。そこで、回収に要する費用などについて伺います。次に、市民にわかりやすく、より詳しい内容で広報活動を行うべきと考えますが、市長の考えをお聞きます。

答弁 プラマークのついたプラスチック製容器包装は、ごみステーションから回収され、東地区の積みかえ施設に集積し、栃木県下野市の民間保管施設へ搬送されます。そこでプラスチック製容器包装とその他の不適合物の選別作業が行われた後、梱包され、再商品化事業者が引き取り、再商品化製品としてリサイクルされています。

また、再商品化事業者は、平成20年度は株式会社日本アクリーズでした



集積されたプラスチック製容器包装

が、平成21年度は宮城県栗原市にある、有限会社築館クリーンセンターで、測量杭、公園の掘木、ベンチや荷物運搬

用パレットなどの再商品化製品を製造しています。

次に、回収に要する費用については、分別処理費等として、平成21年度の予想排出量540トンで、約2200万円の支出となります。また、歳入では、本年度は平成20年度分として399万9467円が容器包装リサイクル協会から本市へ支払われました。

また、広報活動については、広報紙、ホームページや出前講座を通して広く周知していきたいと考えています。

その他の質問

・ 新清掃工場建設に対する本市の考え方について
・ 豊受公民館について

華蔵寺公園遊園地に展示されていた蒸気機関車について

伊勢崎クラブ

新藤 咲旦

質問 華蔵寺公園遊園地は、年間を通して花が咲き、緑豊かな公園として、市民が誇りに思っている所です。この公園内で長く市民に親しまれた蒸気機関車が現役復帰することですが、経緯について伺います。

また、蒸気機関車の復帰後の発車式を伊勢崎駅で行うことで、全国から鉄道ファンが集まり、観光PRになると思いますが、発車式などについて本市

としての考えをお聞きます。

次に、華蔵寺公園遊園地の蒸気機関車が展示されていた場所へは、今後、車両が展示されるのかお聞きます。

答弁 蒸気機関車C6120号機は、昭和24年に製造され、昭和49年に華蔵寺公園遊園地内に展示されました。昨年4月、東日本旅客鉄道株式会社より平成23年7月に開催されるぐんまデスティネーションキャンペーンに間に合うようC6120号機を復活し、群馬県を拠点にイベント列車として営業運行する計画があるため、返還してほしいとの話があり、了解しました。その後、昨年12月19日から本年1月6日まで運転台の一般開放を行った結果、8748人の見学者があり、1月19日に

は多くの見学者が見守る中、搬出作業が行われました。

次に、C6120号機の復活した姿を見ることは、多くの市民の願いであり、発車式などが行われることは、本市の知名度の向上や観光資源として非常に大きな効果があります。このため、東日本旅客鉄道株式会社にC6120号機の発車式を伊勢崎駅で行っていたことや、両毛線のイベント列車の運行について、強くお願いしていきたいと考えています。また、華蔵寺公園遊園地の新たな目玉となるような代替機の貸借も、強くお願いしていきたいと考えています。

その他の質問

サッカー場誘致について

伊勢崎クラブ

田島 勉

質問 市長が、ザスパ草津の本拠地として、多田山地区に県営サッカー場を誘致したいと発表されたことは、子供からお年寄りまでのファンにとって大変うれしい話です。また、誘致されれば、本市の知名度アップにつながる明るいニュースとなります。そこで、県営サッカー場誘致の構想についてお聞きます。

次に、この構想が、現実になるよう

に本市としてもPR活動に力を入れ、調査や協議を重ねる必要があると思います。今後、県や関係機関とどのように協議を進められるのか伺います。

答弁 現在、想定している誘致場所は、多田山地区の県道前橋・西久保線の北側部分であり、J1チームの平均収容能力2万5000人規模のスタジアムを備えたスタジアムが建設可能な土地の面積を有しています。また、隣接する形でサブグラウンドや立体駐車場の併設も可能であると考えています。

本市としては、県営サッカー場建設に対して側面から応援する形になりますが、スタジアムへの交通アクセスの向上のため、北関東自動車道のインタ



正田醤油スタジアム群馬

ーチェンジから伸びる主要幹線道路や近隣地域のアクセス道路の整備など道路基盤の充実を図っていきたいと考え

・利根川河川敷における体育施設整備について

・モラル社会再構築について



本市での発車式の実現を

ています。なお、誘致が現実となった場合には、全国各地からサッカーを愛する子供や学生、社会人までが集まる場所となり、経済効果は非常に大きなものになると考えています。

次に、県への具体的な要望時期は、ことしの秋頃になる予定で、それまでの間に、新年度予算に計上してある調査費により、スタジアムの規模、施設レイアウト、事業費の算定及び交通アクセスなどの調査を行います。また、市民の要望を取りまとめた上で、正式に要望活動を実施していく予定です。

その他の質問

・あずま体育館について
・池沼整備について

合併後の投資的経費の状況について

伊勢崎クラブ

斉藤 優

質問

県内12市の平成22年度一般会計当初予算案は、実質総額で見ると7市が前年度当初比で減額となりました。また、8市が投資的経費を減額しており、各市の厳しい財政状況が浮き彫りとなっています。

投資的経費は、道路、公共施設などのように、支出の効果がストックとして将来に残るものに支出されるもので、いわゆる社会資本の形成に使われる経

費です。そこで、合併後の投資的経費の考え方や経費の推移をお伺いします。また、これまでの境地区における投資的経費の配分についてお聞きします。

答弁

本市では、総合計画を市政運営の基本と位置づけており、市政を支える財政運営においても、この総合計画に基づいて、投資的経費の配分を行うとともに、合併特例債を含め、限られた財源の有効活用に努めています。

次に、合併以後の投資的経費の推移については、普通会計ベースで、平成17年度が105億5802万円、平成18年度が106億6521万円、平成19年度が119億6502万円、平成20年度が116億7001万円、良好な住環境づくりや都市基盤整備を推

進してきました。

次に、境地区における投資的事業の状況は、平成20年度の合併特例債を活用した事業では、全事業費45億5150万円のうち、境地区には主に道路整備事業に6億4410万円が配分されています。また、このような事業に加え、水道事業では石綿管の布設替工事を進めており、下水道事業では汚水処理環境整備や平塚地区の地域整備等を実施しています。今後も境地区の実情や特性を考慮しながら、地域バランスに格差が生じないよう全市域の均衡ある発展を目指して、事業を進めていきたいと考えています。

その他の質問

プレミアムつき商品券について

伊勢崎クラブ

小谷原 達夫

質問

昨年は、国の政策による定額給付金の支給があり、この給付に合わせ、本市独自の経済対策の一環としてプレミアムつき商品券が販売されました。この事業に対してはおおむね良好な評価をいただいたとうかがっていますが、事業評価について改めてお聞きします。

次に、平成22年度もプレミアムつき商品券の発行を行うとのことですが、

事業の考え方についてお聞きします。また、地域経済に与える効果をどのようにとらえているのかお伺いします。

答弁

事業評価については、昨年、商品券の利用者と取扱店を対象にしたアンケートを実施しました。その結果、今後の商品券の発行について、プレミアム率や発行額の大幅な変更を求める声は少なく、利用者の89%がまた利用する、商店の93%が取扱店として登録すると回答しており、多くの市民に受け入れられたものと考えています。

次に、事業の考え方については、商品券の発行は有効な商業振興策であり、市民と小売事業者の多くが商品券の再発行を望んでいることから、平成22年度もプレミアムつき商品券の発行を行



昨年のプレミアムつき商品券の販売所

いたいと考えています。そのため、平成22年度も発行団体となる予定の伊勢崎商工会議所及び群馬伊勢崎商工会と、

・総合計画後期基本計画の策定について
・成人式について



整備が進む中島橋北詰の道路

新たに市内大型店への商品券販売所の設置や、住所要件の撤廃、1カ月程度の有効期限の延長などについて協議しているところです。また、経済効果については、4億円を超える経済効果が喚起されたと分析しており、平成22年度も同程度の経済効果を生み出せるものと期待しています。今後は、商業者自身が工夫を凝らし、商品券との相乗効果によってお店の魅力と売り上げが増加するよう、発行団体並びに関係事業者等と連携を図りながら事業を進めていきたいと考えています。

その他の質問

・自動体外式除細動器について
・尾瀬学校について

四ツ葉学園中等教育学校 について

伊勢崎クラブ

堀 込 清 孝

質問 四ツ葉学園中等教育学校は、

全国初の市立の中等教育学校として開校し、1年が経過しようとしています。開校後、文教福祉委員会の委員として、数学や英語の少人数指導などの様子を拝見させていただきました。

そこで、中等教育学校に対するこの1年間における、これまでの成果や今後の課題をお伺いします。また、今後の検査方法及び内容、受検及び合格の

状況についてお聞きします。

答弁 四ツ葉学園中等教育学校は、

自学、自律、共同、共生の4つの視点から特色ある教育活動を展開してきました。これまでの成果としては、特別授業を実施して、みずから学ぶ力を培い、基礎、基本を確実に習得させたこと、英語や数学の授業は、1クラス15人程度の少人数指導を実施し、学力を確実に向上させたこと、探究重視の学習を行い、体験活動の実施など生徒の興味、関心、適性に応じた学びを実践できたこと、みずから考えみずから行動する力と豊かな道徳性を身につけさせたことです。また、今後の課題については、生徒、教師、家庭が力を合わせて一体化した学校運営と、6年間を

見通した教育活動を両立させ、活力ある学校をつくり上げていく必要があると考えています。

次に、今年の受検及び合格状況については、入学者選抜検査として、問題解決力や多様な見方、考え方を見る適性検査と自己表現の力を見るパーソナルプレゼンテーションを実施しました。また、募集定員120人に対し280人が受検し、市内の小学生69人、市外の小学生59人が合格となっています。今後も、多くの子供たちがあこがれ、進学先として選んでもらえる四ツ葉学園になるよう、全力で取り組んでいきたいと考えています。

その他の質問

させ、目指すべき都市像の実現に向けて取り組んでいきます。

次に、今後の取り組みについては、



より多くの市民との対話を

次代を担う若い世代の方々との対話の必要性は認識しており、機会あることに積極的に対話の場を設けてきたところです。特に、市民とひざを交えて対話できる市長懇話会などは、市民との対話による市政の実現のために、有効な手段の一つと考えています。

今後、さまざまな分野、幅広い年齢層の市民を対象として、対話していく機会をふやしていくことにより、多くの市民からバランスよく、意見を伺い、市政の充実に努めていきたいと考えています。

その他の質問

・指定管理者の選定について
・既存施設の多様な活用について



開校から1年間の成果は

・廃タイヤや火災について
・管理放棄された空き家について
・学校給食の残渣について

市民との対話について

伊勢崎クラブ

臂 泰 雄

質問 地方自治体は市民の生活を守るため、足元からの地道な施策に取り組んでいかなければなりません。市議会も市民との対話が必要であることは

もちろんですが、市長が行う市民との対話は市政発展のための大きな力になることと思います。そこで、市民との対話の現状と、どのように施策へ反映されたのか、総合計画と市民アンケートの関係も含めてお伺いします。

答弁 本市では市民との対話を通して、その意見を市政に反映させる手段として市長懇話会などを開催しています。また、施策への反映については、幅広い市民から多くの意見や提案をいただくことは、市民との協働まちづくりの基本であると考えています。特に、総合計画後期基本計画の策定に当たっては、今後も市民から寄せられた意見等の結果を集約しながら、各分野の施策の中に市民の意向をできる限り反映

赤堀地区のサッカー場について

新政クラブ

藤見 勤

質問 現在、伊勢崎地区には100を超えるサッカーチームがあると聞いていますが、練習場が少ないため人数で簡単に楽しめるフットサルに移っているのが現状のようです。

そのような中、市長は多田山地区に県営サッカー場を誘致する意向を明らかにし、平成22年度一般会計当初予算に調査費として200万円を計上されました。サッカー愛好者やファンもサ

ッカー場ができるのを期待しており、本員もサッカー場建設の実現に協力することを惜しみません。

そこで、昨日の一般質問の答弁で、県にはまだ非公式の話であるとのことでしたが、本市以外にもサッカー場誘致を考えているように聞いています。多田山地区については、前橋市も土地を所有しており、本市独自で進めるのではなく、前橋市と共同歩調で誘致をする方が、県に対して効果があると思います。また、今後の対応について伺います。

答弁 赤堀地区へのサッカー場建設は、これまでも地元から要望が寄せられているところです。今回の県営サッカー場の誘致には、地元も使用できる

サブグラウンドの整備なども要望してきますので、実現すれば赤堀地区は、とても素晴らしいサッカー環境が整うと考えています。

また、多田山の土取り後の平地は、伊勢崎市と前橋市の境界をまたぐ広大な土地ですが、今回誘致を要望している区域は、県道前橋・西久保線以北の約6万平方メートルのエリアの内、伊勢崎市の区域が約4万5000平方メートルです。今後、前橋市とは都市計画上の課題やまちづくり全体での整合性なども含め、緊密に連絡調整を図っていききたいと思います。また、県企業局との調整なども踏まえた上で、県への要望活動を行っていききたいと思います。

伊勢崎駅周辺整備について

新政クラブ

森田 修

質問 現在、伊勢崎駅周辺は駅の高架事業も進み、変化しているところですが、この町がどのように変わっていくのか考えながら計画を立てていく必要があると思いますが、どのようなソフト面の構想があるのかお聞きます。

また、生活している人の年齢層が変化すればそれに対応した計画が必要だと考えます。中心市街地の人口動態調査の結果を踏まえた、まちづくりのビ

ジョンについて伺います。

答弁 現在のソフト面の構想については、伊勢崎駅前周辺整備基本方針を平成20年3月に策定し、賑わい、高度利用、個性を3つのコンセプトとしています。賑わいについては、玄関口にふさわしい公共交通結節点機能の実現やアメニティの高い公共空間の実現、賑わいづくりのソフト方策の展開としています。また、高度利用については、賑わい拠点となるような土地の有効利用を目指すこととしており、個性については、駅周辺の回遊性の実現やまちの顔となる駅前景観の特色づくりを図ることとしています。これらの整備方針をもとに、都市基盤整備を確実に進め、定住人口や外来者を増加させ、賑

わいの創出を目指したまちづくりを行っていききたいと考えています。次に、まちづくりのビジョンについて



駅周辺のまちづくりのビジョンは

その他の質問
・赤堀中学校について



サッカー場誘致予定の多田山地区

ては、平成21年10月1日現在の中心市街地の居住人口は8504人で、平成17年に比べおおむね8%減少し、65歳以上の人口は2727人と高齢化も進んでいます。中心市街地は、文化、行政サービスなどの各種都市機能を活かした利便性の高い暮らしの場として再生し、20万都市伊勢崎の都心交流地域を目指しています。伊勢崎駅前周辺においても、市民が集い、交流し新しい活力が生まれ、だれもが使いやすいまちづくりを行い、交流人口の増加を図っていききたいと考えています。

その他の質問

・生活保護について
・学校におけるモラル教育について

子ども手当支給の考え方について

新政クラブ

須田 学

質問

民主党がマニフェストで示した子ども手当は、国の来年度の予算案に盛り込まれ、それに基づき本市でも予算計上されています。マニフェストの実現に半信半疑だった子育て世帯の方も胸をなでおろしている一方で、子ども手当の給付については、よく理解できていないのが実情ではないかと思っています。そこで、子ども手当がどのように支給されるのかお聞きします。

また、児童手当を現在受給している方は申請が不要であり、そのまま支給されますが、新たに受給対象となる方は申請が必要との報道がされています。そこで、申請方法等の周知についての考えをお伺いします。

答弁

子ども手当は、次世代の社会を担う子供の健やかな育ちを社会全体で支援する観点から実施するものであり、受給者の所得制限を設けないとともに、子供の年齢や出生順位にかかわらず、一律に支給するもので、平成22年度においては、中学校修了までの子供1人につき月額1万3000円を支給するものです。

現在、国会において平成22年度における子ども手当の支給に関する法律案

が審議されているところですが、本市としては、平成22年度当初予算において、児童手当分も含めた子ども手当の総額で4億1828万1000円の給付費を計上したところです。今後、次代を担う子供たちの不利益にならないよう、国の方針どおりに子ども手当支給に向けて準備を進めていきたいと考えています。

また、申請方法等の周知については、5月に細かい手続などの広報を行っていききたいと思います。

なお、本市の単独事業である母子家庭、父子家庭、障害児、交通遺児等に支給している児童福祉手当については、従来どおり支給を続けていきたいと考えています。

消防団について

公明党

阿久津 尚子

質問

消防団は、地域防災の中核的存在として活躍していますが、県内では、この10年で団員が1割減り、過去最低であるとお聞きしました。団員数が定員に満たない地域も多いとのことですが、本市の消防団の充足率をお聞きします。

また、消防団員のうちサラリーマンの割合が初めて70%を超え、消防庁では被雇用者が入団しやすく、活動しや

すい環境づくりのために事業所の協力が得られるよう消防団協力事業所表示制度の普及を推進しています。そこで、本市における消防団協力事業所表示制度の考えをお伺いします。

答弁

本年2月1日現在の消防団員の充足率は、第1方面隊が91・3%、第2方面隊が96・4%、赤堀方面隊、東方面隊及び境方面隊はそれぞれ100%であり、旧5市の状況は、前橋市が77・8%、高崎市が89・9%、桐生市及び太田市が92%であり、本市が97・4%で1番高い充足率となっています。今後とも地元行政役員の理解と協力を得ながら団員確保に努めていきたいと考えています。

次に、本市では、平成20年4月1日



消防団員が活動しやすい環境づくりを

に消防団協力事業所表示要綱を制定し、消防団員の勤務先の確実な把握や、意向調査などを実施し、消防団協力事業

その他の質問
・ オンデマンドバスの導入について
・ 病後児保育の拡充について



子ども手当に関する周知を

所表示制度の啓発や意見交換などを行ってきました。現在、表示証の交付に向け、消防団と課題等について調整を進めているところです。また、消防団員を雇用している事業所等への優遇措置の考え方としては、平成22、23年度の建設工事競争入札参加資格審査申請の中で、消防団員を雇用している事業者には社会貢献実績として加点し、入札参加資格の格付けに反映させていくことを検討しています。

その他の質問

・ 北関東自動車道高架下の管理及び防犯対策について
・ 認知症高齢者を取り巻く現状と支援について

保育施策の充実について

日本共産党議員団

長谷田 公子

質問

子育て支援や少子化対策で重要なのは保育施策の充実です。経費削減を目的に公立保育所の民営化計画が策定され、6保育所が順次民営化されることになりましたが、経費が安くてよいという姿勢のまま民営化を推進すれば、移管される法人やそこで働く保育士も、安心して質の高い保育を実現するのは困難となります。

そこで、今年度、民営化した第五保

育所と境すみれ保育所について、民営化前と後の市負担額の変化をお伺いします。また、民営化後の苦情処理制度についての状況をお聞きます。

次に、公立保育所の保育士及び労務技士について、それぞれの正規職員数と臨時職員数及びその処遇、また、私立認可保育園の正規、臨時及び派遣の保育士数をお聞きます。さらに、私立認可保育園では、保育士が子育てしながら安心して働き続けることが困難な状況にあるようですが、私立と公立の保育士の平均年齢をお聞きます。

答弁

第五保育所及び境すみれ保育所で、平成20年度と21年度の当初予算比較では、約4300万円の削減効果が見込まれます。また、現在苦情等の

案件は、報告を受けておらず、移管後の運営は順調であると考えています。

次に、公立保育所の保育士数と労務技士数は、昨年4月1日現在で、正規保育士49人、臨時保育士71人、正規労務技士17人、臨時労務技士9人です。また、臨時職員の処遇は、保育士が時給1100円、労務技士が時給900円です。また、私立認可保育園の正規保育士は518人、臨時保育士は173人で、派遣人数は把握していません。さらに、私立認可保育園と公立保育所の保育士の平均年齢については、昨年4月1日現在で、私立の正規保育士が29歳、臨時保育士が41歳で、公立の正規保育士が43歳、臨時保育士が36歳となっています。

境町並みの市有地売却による影響について

希望の会

田島 喜八

質問

現在、旧境町の町中は、火が消えたようになっていきます。特に、中心街にある大変大きなスーパーマーケットが、1月で閉店しました。このようなか、本当に困っているのはそこで暮らしている住民です。

旧境町時代では、私が町長の時に、町の市街地の活性化を図るために、境町駅周辺の土地を購入しました。しかし、市は、昨年、境地区中心市街地の

活性化へ向けた一つの有効な方策であるとして、購入した土地の一部を公売しました。駅前が一番大事な町発展の基礎となる土地が簡単に売却されてしまい、今になって境地区の住民の方もいろいろな観点から気になり始めたようです。そういうことを踏まえると、市は地元の住民の方たちのコンセンサスを得ながら対応していくべきであると考えます。そこで、境町並みの市有地売却による影響についてお伺いします。

答弁

境町駅周辺は、以前作成された境町中心市街地活性化基本計画において、回遊路及び憩いの場などの環境の整備を進める地区として位置づけられており、駐車場は来街者や利用者に



境町駅周辺の活性化を

配慮した環境整備の一つとして必要不可欠な施設とされていきました。そこで、民間活力の導入が地域開発の有効な手段であることから、市有地である駐車場を従前の駐車場としての機能を継続させる利用計画を持つ民間事業者に売却しました。合計の駐車台数は、区画の切り直しにより増加したと聞いています。

また、売却後の町並みへの影響については今のところ特にありませんが、民間事業者への売却により民間活力を誘引しているものと考えています。

その他の質問

- ・新設対等合併により県央都市として5年2カ月の総括について
- ・市長就任1年余の思いと今後3年の抱負について
- ・4年間の主要事業について

その他の質問

- ・公的雇用について



質の高い保育の維持を

公の施設における国旗・市旗を 初めとする旗の扱いについて

市民の声

石原清次

質問

国旗というものはその国民の象徴であり、誇りであり、そして命にかえても守るべき名誉あるものだというのが、世界各国の国旗に対する大方の認識です。つまり、国を象徴する国旗、市を象徴する市旗、学校の校旗や会社の社旗などは、その団体に所属する人の象徴です。

本市の公の施設にも国旗及び市旗掲揚塔があります。各施設を拝見します

平成22年度一般・各特別会計等予算を可決

―予算特別委員会の概要―

平成22年度一般会計予算の審査に臨んで、予算特別委員会は、市民の負託に応えるため慎重に審査を行いました。審査日程等は次のとおりです。

2月26日(金)

◆本会議において、議長を除く議員全員の構成による予算特別委員会を設置し、付託しました。

◆委員長・副委員長の互選

委員長 大和 博

副委員長 内田 彰

と、それぞれの場所でそれぞれの対応になっています。ある学校では、校旗がぼろぼろになって掲揚されています。その状況を見て、児童・生徒たちが自分の学校に対する愛校心や学校に対する尊い敬意を持てるのでしょうか。また、本市の施設を訪れた方々が、ぼろぼろになった市旗を見て、郷土愛あふれる豊かな町だと思ってしまうか。そこで、本市における旗の取り扱いについてお聞きします。

答弁

国旗、市旗の掲揚の現状については、本庁、支所、文化施設のほか、消防の各施設については全て掲揚しています。学校や公民館においても、国旗、市旗、校旗等を日常的に掲揚しています。その他の施設については、さ

それぞれ当選し、就任しました。

3月4日(木)・5日(金)

◆一般会計予算の各条及び歳入・歳出全体について順次審査しました。委員会における主な質疑は次のとおりです。

歳入

◎市税

市民税において
・本市の減収割合と地方財政計画との相違について
固定資産税において

まぎますが、福祉施設では掲揚してない事例も見受けられる状況となっています。また、屋内で開催する式典や屋外で開催する競技場での大会などでは極力掲揚しています。

国旗、市旗を掲揚することは、市民の国土や郷土を愛する心をはぐくむとともに喚起することができると、大変意義のあることと考えています。

また、汚れて破損した国旗、市旗が掲揚されている状況が見受けられ、市民に不快な気持ちを抱かせてしまうことは遺憾なことでありますので、日常的な旗の管理に留意していきたいと思っています。

今後の対応については、各所属でのこれまでの慣例的な取り扱いの統一化

◎地方譲与税

地方揮発油譲与税において
・地方揮発油譲与税と地方道路譲与税の関係について

◎地方交付税

地方交付税の積算根拠について
・雇用対策・地域資源活用臨時特別費に係る事業及び一本算定とみなした場合の交付税の額について

◎分担金及び負担金

赤堀地区、東地区の放課後児童クラブの入所児童数及び入所児童数

◎使用料及び手数料

の減少理由について
手数料において
・ごみ処理手数料の減額理由について

◎国庫支出金

国庫補助金において
・安心・安全な学校づくり交付金に係る事業及び公立高等学校授業料不徴収交付金について

◎市債

臨時財政対策債の増額理由及び地方債借入れの考え方について

歳出

◎総務費

総務管理費において



公の施設での旗の取り扱い

を図ることなどを検討し、指定管理者等への指導も含めて、適切に対応していきたいと考えています。



予算特別委員会の様子

◎民生費

社会福祉費において

・住宅手当緊急特別助成金の内容について

児童福祉費において

・認可外保育施設支援事業の内容について

・子ども手当給付費の支給対象人数について

◎衛生費

保健衛生費において

・市民病院事業費繰出金の考え方について

・健康づくり検査の無料化について

◎労働費

・緊急雇用創出事業における委託料の賃金割合について

◎農林水産業費

農業費において

・強い農業づくり交付金に係る事業内容について

◎商工費

・工業団地周辺整備基本計画作成業務委託料の内容について

・プレミアム付商品券発行事業補助金における事務費の内容及び販売所増設の考え方について

◎土木費

土木管理費において

・木造住宅耐震診断業務委託料及び木造住宅耐震改修補助金の積算根拠について

道路橋りょう費において

・橋りょう調査委託料の内容について

◎教育費

小学校費において

・茂呂小学校及び赤堀南小学校校舎増築事業の内容について

中学校費において

・宮郷中学校整備事業における設計内容について

社会教育費において

・歴史的建造物調査委託料の内容について

◎公債費

平成22年度 各会計予算

(単位：千円 %)

区 分		22年度	21年度	増減率
一般会計		65,750,000	62,588,000	5.1
特別会計	小型自動車競走事業費	18,829,601	19,714,641	△ 4.5
	学校給食センター事業費	1,819,820	1,842,496	△ 1.2
	国民健康保険	20,073,841	19,957,344	0.6
	老人保健	8,282	15,502	△ 46.6
	後期高齢者医療	1,574,314	1,560,344	0.9
	介護保険	11,202,230	10,557,630	6.1
	下水道事業費	3,127,950	3,882,694	△ 19.4
	農業集落排水事業費	601,565	631,926	△ 4.8
企業会計	特定地域生活排水処理事業費	25,021	—	新規
	水道事業	5,919,082	5,861,886	1.0
	農業共済事業	—	269,138	廃止
	病院事業	13,887,352	13,996,580	△ 0.8
	介護老人保健施設事業	248,500	251,000	△ 1.0
	訪問看護事業	59,990	61,000	△ 1.7

審査の結果

・市債残高増額に対する考え方及びプライマリーバランスの状況について

討論においては、北島元雄委員から反対、田島勉委員から賛成の意思表明が行われ、引き続き採決の結果、平成

各特別会計等予算

22年度伊勢崎市一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成22年度各特別会計等予算は、各常任委員会に付託され審議が行われ、委員会採決はいずれも原案のと

平成21年度 各会計補正予算

(単位：千円)

区 分	補正前の 予 算 額	補 正 額	計
一般会計(第7号)	65,093,751	526,330	65,620,081
特 別 会 計 等	学校給食センター事業費 (第4号)	△ 54,521	1,814,805
	国民健康保険 (第4号)	△ 156,614	20,308,703
	後期高齢者医療 (第3号)	△ 59,499	1,549,928
	介護保険 (第3号)	177,363	11,247,778
	下水道事業費 (第3号)	△ 96,253	4,302,543
	農業集落排水事業費 (第2号)	△ 6,239	601,715
	水道事業 (第3号) (収益的)	8,960	4,154,400
	病院事業 (第3号) (収益的)	450,746	13,175,156

おり可決すべきものと決定しました。
審査結果と概要については、3月19日の本会議において、各常任委員会委員長から報告されました。

総務委員会

・ 小型自動車競走事業費特別会計

文教福祉委員会

・ 学校給食センター事業費特別会計
・ 介護保険特別会計
・ 病院事業会計
・ 介護老人保健施設事業会計

経済市民委員会

・ 訪問看護事業会計
・ 国民健康保険特別会計
・ 老人保健特別会計
・ 後期高齢者医療特別会計

建設水道委員会

・ 下水道事業費特別会計
・ 農業集落排水事業費特別会計
・ 特定地域生活排水処理事業費特別会計
・ 水道事業会計

成立した議案

今回の定例会で成立した市長提出議案は、新年度予算14件、平成21年度補正予算9件、条例関係22件、人事案件1件、その他7件の、合わせて53件で、いずれも原案のとおり可決しました。

伊勢崎市伊勢崎駅自由通路条例を制定

JR両毛線の高架工事完成に伴う高架切りかえに伴い、伊勢崎駅南北の連絡を図り、歩行者の利便性を高めるとともに、快適な都市環境の実現に資するため、伊勢崎駅自由通路を設置するものです。

伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正

市民病院利用者の利便性向上のため、本年4月から本館棟1階北側に売店を設置することに伴い改正の必要を認め、使用料について月額105万円を定めるものです。

人事関係議案

◎教育委員会委員任命の同意について
茂木克氏 (野町)

条例・その他の議案



伊勢崎駅北口

- 伊勢崎市公平委員会の委員の服務の宣誓に関する条例等の一部を改正する条例
- 伊勢崎市公共施設整備基金条例
- 伊勢崎市グリーンニューデール基金条例
- 伊勢崎市情報公開審査会及び伊勢崎市個人情報保護審査会の整理に伴う関係条例の整備に関する条例
- 伊勢崎市情報公開条例の一部を改正する条例
- 伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 伊勢崎市職員の修学部分休業に関する条例
- 伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- ▼伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計条例
- ▼伊勢崎市長期継続契約を締結することができると定める条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市行政財産使用料条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市銃砲刀剣類所持等取締法関係手数料条例
- ▼伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市保育所条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市敬老祝金条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市コミュニティプラント条例を廃止する条例
- ▼伊勢崎市特定地域生活排水処理事業による戸別浄化槽の整備に関する条例
- ▼伊勢崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
- ▼伊勢崎市火災予防条例の一部を改正する条例
- ▼裁判上の和解についての専決処分承認について
- ▼群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
- ▼群馬県市町村会館管理組合の規約変更に関する協議について
- ▼群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について

市議会会議録をご覧ください

市民の皆様が会議内容を確認できるように、議会の会議内容を記録した会議録を作成し、市内の施設へ配置しています。また、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

配置施設（閲覧場所）

伊勢崎市役所、赤堀支所、あずま支所、境支所、伊勢崎図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館、市民プラザ、ふくしプラザ

ホームページ

<http://www.city.isesaki.lg.jp>
(左側メニュー「伊勢崎市議会」内)



報告事項

- ▼伊勢崎市農業共済事業廃止に伴う財産処分について
- ▼市道路線の廃止について
- ▼市道路線の認定について
- ▼和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について 5件
- ▼市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について 2件
- ▼伊勢崎市庁舎耐震補強及び大規模改修工事請負変更契約締結の専決処分の報告について
- ▼伊勢崎市庁舎耐震補強及び大規模改修電気設備工事請負変更契約締結の専決処分の報告について
- ▼伊勢崎市庁舎耐震補強及び大規模改修機械設備工事請負変更契約締結の専決処分の報告について

請願の審査状況

文教福祉委員会付託

●現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める請願（前回に引き続き閉会中継続審査）

経済市民委員会付託

- 気候保護法制定についての国への意見書採択を求める請願（前回に引き続き閉会中継続審査）
- 年金引き上げを求める請願（前回に引き続き閉会中継続審査）
- 後期高齢者医療制度の廃止を政府に求める請願（前回に引き続き閉会中継続審査）
- 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願（前回に引き続き閉会中継続審査）

専決処分の報告について

陳情の処理状況

建設水道委員会送付

●豊城町天野沼子供つり場北側敷地の市道化及び県道接続道路拡幅に関する陳情

議員提出議案

今回の定例会に提出された議員提出議案は、伊勢崎市議会委員会条例の一部を改正する条例で、原案のとおり可決しました。

議会を傍聴しましょう

6月定例会（予定）

会 期：6月11日（金）～25日（金）
一般質問：6月14日（月）・15日（火）



4月25日（日）は
伊勢崎市議会議員
選挙の投票日です。

